

AUBADE HALL CALENDAR

保守工事のため2月は催事がありません

3	3 火	舞台の上の美術館II KYOMU「巨無と虚無」 11:00~20:00	[問]富山市民文化事業団 総務企画課 076-445-5610
	12 日	第31回 富山県社会人吹奏楽フェスティバル [開演]13:00	[問]北日本新聞社事業部 076-445-3355
	19 日	billboard classics festival 2017 in TOYAMA [開演]15:00	[問]富山市民文化事業団 総務企画課 076-445-5610
	26 日	友井賢太郎CONCERT スイングしようぜ! 13 [開演]18:00	[問]友井音楽事務所 076-493-0684
	28 火	富山高等学校 第65回スプリングコンサート [開演]18:00	[問]富山高等学校 076-421-2925
	29 水 31 金	オーバード・ホールピアノ体験 [問]オーバード・ホール管理課 076-445-5620	
4	1 土	チューリップコンサート TULIP 45th Memorial Tour "it remembers" [開演]18:00	[問]サンライズプロモーション北陸 025-246-3939
	5 水	市川海老蔵「古典への誘い」 [開演]14:30	[問]北日本放送事業局 076-432-5555
	8 土	Mr.Childrenコンサート Mr.Children Hall Tour 2017 ヒカリノアトリエ [開演]18:00	[問]キヨーデー北陸チケットセンター 025-245-5100
	9 日	それいけ!アンパンマンミュージカル 勇気の花に歌おう♪ [開演]12:00/15:00[問]北日本放送事業局 076-432-5555	
	23 日	三山ひろしコンサート2017 ~気鋭の道~FINAL [開演]13:30/17:30[問]デカナル 06-6362-7610	
	29 土・祝	富山南高等学校吹奏楽部 第40回記念演奏会 [開演]18:00	[問]富山南高等学校 076-429-1822
	30 日	サカナクションコンサート SAKANAQUARIUM2017 [開演]18:00	[問]FOB企画 076-232-2424

上記は2017年1月25日現在の情報です。変更および追加となる場合があります。

オーバード・ホール ピアノ体験

数々のスターが弾いたあの名器「ベーゼンドルファー」を、
オーバード・ホールの舞台の上で弾いてみませんか？

■実施日／3月29日(水)～31日(金)

■日によって体験時間が異なります。ご注意ください。

3月29日(水)募集定員5人

- ①11:10～②12:20～③13:30～
- ④14:40～⑤15:50～

3月30日(木)募集定員6人

- ①10:00～②11:10～③12:20～
- ④13:30～⑤14:40～⑥15:50～

3月31日(金)募集定員5人

- ①10:00～②11:10～③12:20～、
- ④13:30～⑤14:40～ [各回1時間]

■対象／小学生以上(小学生は保護者の同伴が必要)

※ピアノ教室等の団体、グループでの申し込みは不可。

■参加料／小・中学生…無料 高校生以上…1,000円(当日徴収します)

■申込方法／ハガキまたはメールでお申込ください。

<ハガキ・メールに明記すること>

郵便番号、住所、氏名(小学生は保護者の氏名も)、ふりがな、年齢、電話番号、学校名、希望日時(第2希望まで・希望日が重なった場合は抽選となります)、過去の体験回数(過去に当選された方)

■申込先／ハガキの場合…〒930-0858 富山市牛島町9-28
オーバード・ホール管理課

メールの場合…kanri@aubade.or.jp

■申込締切／2月20日(月)当日消印有効

■お問合せ先／オーバード・ホール管理課

TEL 076-445-5620(8:30~17:15)



オーバード・ホール(富山市芸術文化ホール)

〒930-0858 富山市牛島町9-28 TEL076-445-5620

<http://www.aubade.or.jp>

交通のご案内 鉄道利用 富山駅下車、北口正面から徒歩2分

航空利用 富山空港よりタクシーで20分 バスで富山駅まで25分

お車利用 北陸自動車道富山I.C出口から20分

発行所 公益財団法人 富山市民文化事業団 総務企画課 TEL076-445-5610

表紙イラストレーション：唐仁原教久 企画・編集・デザイン：アイアンオー 発行日：2017年2月15日

mite mite

シアターライフを楽しむ情報誌 [ミテミテ] by オーバード・ホール

2017
Winter
Vol. 51



○舞台の上の美術館II

○特別対談 作家 緑山秋子×須藤 晃

○避難訓練コンサート

舞台が美術館になる、
劇場の逆襲。



巨無亡廬無

我々は、これまで多くの舞台家たちが心震わせ、観客が歓喜と喝采で包まれる瞬間を目撃してきました。絶対的な劇場空間を誇る場所、それがオーバード・ホールです。この春、その巨大な舞台に、造形と平面、光と音、そして訪れる人も封じ込めて、まったく新しい美術展を創り上げます。

造形作家の清河北斗、日本画家の平井千香子の作品と、劇場ならではの照明や音響、舞台機構の融合。美術館では実現できない演出で彩る、全国でも類のない新たな美術展へ、ぜひお越しください。

オーバード・ホール開館20周年記念事業

舞台の上の美術館II

MUSEUM ON THE STAGE IN AUBADE HALL

2017年3月3日(金)～7日(火)

11:00～20:00 会期中無休

オーバード・ホール(舞台上・ホワイエ・ギャラリーほか)

入場無料 ※詳細はオーバード・ホールHPをご覧ください



作家トーク

3月4日(土)11:30～
清河北斗
平井千香子

劇場で魅せる オーバード・ホール舞台技術スタッフの思い—

プロフェッショナルの実験劇場

照明: 渡部 良一

通常、作家一人で表現する空間造形を、この企画では舞台技術のプロも一緒に集い、案を出し合います。それぞれの思い描く絵を切磋琢磨することで、美術館では見られない、舞台ならではの空間造形をつくりあげることができます。今回の清河氏、平井氏の作品の内面をとらえ、両氏の思う空間を実現し、それ以上のものを照明が表現できるかが、照明家としての腕の見せ所です。

オーバード・ホール開館20周年の実験劇場。いかに劇場空間に入り込み、日常と違う空間に驚きや何かを感じていただけるか、多くの方に鑑賞していただき、開館21年目から先の出発点にできれば嬉しいです。

作品の物語が際立つように

映像・音響: 曽根 朗

オーバード・ホールの大きな空間と闇。この落ち着いた黒い闇に、造形作品や照明がうまく組み合い、投影する映像の色合いも含め、みなさまに満足していただけるものを映し出せたらと思っています。

音響については、空間と作品と照明で構成されたところに果たして音は必要なのか、そんなフラットな状態からのスタートです。どれだけ音がひと味加えられるかという面白みがあり、お二人の作品の世界観が際立ち、作品の物語に合うような音ができればと考えています。

劇場は、人

仮様祭り演出・技術監督: 每熊 文崇

舞台、演劇は、人ととのコミュニケーション。舞台の上にただ作品を置くだけでは、劇場でやる意味はありません。劇場であるからにはどう見せようか、と。

強いエネルギーを放出する清河君の作品「仮様」と、人間の生のエネルギーを対峙させてみようと考えています。都市の底でうごめく雑踏の中に突然、音が鳴り響き、何十人の狂喜乱舞がはじまる。人々が強い生のエネルギーを発散させ、忽然といなくなる。それが「仮様祭り」と題した舞踊のパフォーマンスタイムです。劇場、舞台は、人間がつくりあげる場所。そして客席は、人間が鑑賞して感情を共にする場所。すべての人の思いに100%応えられる「確信」を、今探しているところです。



photo オーバード・ホール開館10周年記念展 舞台の上の美術館

舞台の上で祭りがはじまる かりさま 「仮様祭り」	3月3日(金)19:30～ 演出: 每熊文崇 振付: 田畠真希(ダンサー・振付家) 4日(土)15:00～ 音楽: 武徹太郎(馬喰町バンド) 5日(日)15:00～ 出演: 仮様舞踊団
--------------------------------	--

今回、特別に結成された仮様舞踊団によるステージです。
果たして「仮様」とは何なのか。この場所にしか生まれ得ないものを、ぜひ体感してください。

進化の過程にある物語

造形作家
清河 北斗

1974年生まれ、富山県黒部市宇奈月町在住。東京芸術専門学校卒業後、現代美術制作活動を経て、立体造形物をはじめ舞台美術、特殊美術造形の仕事に携わる。2008年、黒部市宇奈月町に「STUDIO/HOT」を設立。「第9回トリエンナーレ2015神通峡美術展」・「神通峡美術賞」受賞。



《象駆輪 金剛力士座像》2009年

—清河さんの作品には車やバイクがモチーフのもののが数多くありますが、そのルーツとは？

小学生のころあまりにも気が弱くて、親がモトクロスバイクを買ってくれたんです。乗れるようになってからはものすごい勇気が出ました。でもバイクのことは学校では内緒にしろって言われていて。「俺も乗せろ」とか言われるから。ただ内緒にしていたことが僕にとって自信になったんです。他人の知らない自分がいる。ヒーローが本当の自分を隠しているみたいな。そこからバイクが好きです。バイクの役割ってむかしだと馬だと思うのですが、馬に言葉は通じないけど、やさしくしたり勞ったり、意思の疎通をとろうとしますよね。少年心にメカに対して同じようなところがあつて、エンジンによしよししたり。そういう風にモノを擬人化する感覚が強いんだと思います。バイクと象が融合した「象駆輪 金剛力士座像」という作品は、メカが生命体的に機能しているとして、それをハイブリッドした新しい生命体に進化したとすればこういうフォルムになるんじゃないかな、という空想から生まれています。

—作品の核心は？

「生命の進化における嘗み」でしょうか。生き物は進化の過程でフォルムが変わります。例えば時速100km以上で走るチーターは、必要に応じどんどん速く走るという機能に特化して進化したと思うんです。ただトカゲもカメもライオンも、脊椎動物の骨格は基本一緒。元はひとつと言わないにしても、基本変わらない構造でここまでフォルムが変わっていく。それは独自の環境



Hokuto Kiyokawa

ガツンと思い出に残るもの

日本画家
平井 千香子

1972年生まれ、富山県上市町在住。東京モード学園在学中に、ファッショングクリエーター新人賞国際コンクール日本代表、第10回ルミネファッショントレーニング大賞を受賞。2005年より富山県上市町を拠点に絵画制作活動を開始。越中アートフェスタ優秀賞・北日本新聞社賞受賞。2007年より文芸誌「弦」の装画を制作など。



《花魅》2011年

—日本画家になるきっかけは？

高校3年生のときにファッショングデザイナーになりたいと思って東京の専門学校に行つたのですが、絵を描いてる方が楽しくて。卒業してからはフリーターをしながら絵を描くことにしたのですが、アルバイトで終わる毎日でした。それから富山に帰ってきて絵を描こうと思ったとき、むかし通っていた絵画教室の油絵の具があって、それと鉛筆で書きはじめたんです。そのうち知り合いから日本画の方が合うんじゃないかなと言われて。自分としてもそう思い、日本画の画材で描いてみたら面白くなつて、今に至っています。ただ、基本的に画材は何でもいいと思っています。

—もともと日本画に興味はあったんですか？

小中学生のころから、教科書に載っている昔の日本の絵が好きでしたね。とにかく見ていてカッコいいし、江戸時代の絵は特にそうですけど、風刺画にも必ずどこかにユーモアがあって。そういうところは自分の中でも大事にしています。

—平井さんの作品は、植物と動物が融合した絵など、組み合わせがユニークですよね。

落書きをしていたら鳥の絵がびらーんと花になつて。これはいいと思って組み合わせがはじまつたんです。なぜそうなつたかを改めて考えると、花を見たら昆虫

がいて、みんな繋がつてゐるんだと思うのと、よくある花の絵は描きたくなかったんですね。基本、人と同じ絵は描きたくないから。そういうひねくれ根性というか、人と一緒に嫌というのも根本にあると思います。

—今回の「舞台の上の美術館II」ではどういったものを見せていただけますか？

いま清河さんの「仮様」という作品に絵をつけています。今回は日本画の画材ではなくペンとアクリルで、鉄パイプなどの機械部品を有機体として描いています。機械的なものが生物のように機能している。そんなイメージです。

—完成までに全部で4ヶ月も掛かるそうですが。

毎日わくわくしながらやってます。立体に下書きなしで描くっていうのが、壁に落書きし放題みたいで面白くてしようがないですね。自分も来場者も、ガツンと思い出に残るようなものをつくりたいです。月日が経つても、ふと思いつくような、そんな景色をオーバード・ホールの劇場空間全部で、生み出したいです。



お二人のインタビューはまだまだあります！

完全版はオーバード・ホールHP「舞台の上の美術館II」

特集ページでご覧ください！ <http://www.aubade.or.jp>



「作り手」の枠を超える

仕事やプライベートで何度も富山を訪れる
“富山通”的作家・絲山秋子さん。
作家として小説を書くだけでなく、
さまざまな活動でファンの心を掴んでいます。
オーバード・ホールの須藤 晃 芸術監督と
芸術や文化について自由に語り合いました。

作家 絲山秋子 須藤 晃 芸術監督

〈絲山秋子プロフィール〉

1966年東京都生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、住宅設備機器メーカーに入社し、2001年まで営業職として勤務する。2003年『イツツ・オンリー・トーク』で文學界新人賞、2004年『袋小路の男』で川端康成文学賞、2005年『海の仙人』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、2006年『沖で待つ』で芥川賞、2016年『薄情』で谷崎潤一郎賞を受賞。『逃亡くそたわけ』『ばかもの』『妻の超然』『末裔』『不愉快な本の続編』『忘れられたワルツ』『離陸』など著書多数。

絲山作品の魅力とは。

須藤／絲山さんの2011年の著作『不愉快な本の続編』は、主人公の乾ケンジロウが東京での生活から逃げ出し、新潟・富山・呉の3つの都市を股に掛けて放浪する様子が描かれていますが、すごい取材力でびっくりしました。地元の人が読んでもリアリティがありますよね。絲山さんは富山には何度もいらっしゃっているんですか。

絲山／この作品を書いていたときはまだ来はじめでしたけれど、いろんな場所でたくさんの方に取材させていただきました。そのあと北日本新聞社の連載企画でたびたび訪れるようになって、今では富山が大好きで休みが取れると住んでいる群馬から遊びに来るんです。もともと親戚や知人もまったくないのですが、相性がいいみたいで仕事と関係ない友達もたくさんできました。

須藤／富山のファンになっていただいてうれしいです。僕は以前から絲山さんの作品のファンなのですが、映画にもなった2010年の『ばかもの』も好きな作品のひとつです。コントロールできなくなったり人間が悲劇的な状況に陥っていく様がとてもリアルで、小説も映画も妥協のない表現で感動しました。ご自身の原作が映画になるのはどのような気分でしたか。

絲山／小説ではいくら言葉を尽くしても景色そのものをお見せすることはできませんよね。『ばかもの』でいうと「吹割の滝」という有名な滝が出てくるのですが、想像力の中で再現した滝って人それぞれ違うと思うんです。だけどみんなで共有できる映像という形で、みんなの想像を絶するほどの「滝」を表現いただいたのはうれしかったですね。

須藤／絲山さんの小説ってジャン=ポール・ベルモンドやゴダールの時代のフランス映画みたいな感じがありますよね。妙にリアルで、こじらえものの感じがないというか。日本の作家が書く小説とはテイストが違う気がします。

絲山／父の影響です。フランスが大好きで、家には古いフランス映画や翻訳文学が多かったんです。

それでわたしが書く本もヨーロッパ系なんでしょうね。それに作家になる前は設備メーカーの営業マンだったせいか、小説の内容もそうですけどいろんな部分で作家っぽくないと言われます。

言葉は情報の全てではない。

須藤／作家然としているところでは、ラジオもされていると聞いてびっくりしました。絲山さんの声はとてもいいですね。

絲山／いえいえ、人と違う声だとは言われますけれど。

須藤／僕は声のプロフェッショナルなので、レコードに記録したときに人の印象に残る声が見極められます。実は作曲や作詞の才能ってあまり差がないですね。どんな人でも必ずある程度はできるじゃないですか。でも最後は声なんです。声質やトーンで情報量って増えるんです。ラジオでも「今日寒いですね」と言ったときに、それが含んでいる情報量がたくさん聞こえた方がいいですよね。絲山さんの声はそういう声だと思います。

絲山／私は2006年から群馬のFMやコミュニティ局でパーソナリティをしているのですが、やっぱり気持ちが乗る乗らないというのは、恐ろしいほど伝わります。ちょっと体を無理しているときに、ひと言も「具合が悪い」なんて言わなくても、次の週に「先週心配してたけど、今週は元気そうでよかった」とメールをくださる方がいて。それもひとりじゃなくて、5、6人いらっしゃるんですよ。

須藤／声が持っている情報はすぐリスナーに伝わるんですよね。

絲山／言葉じゃないんです。とても不思議なのが、わたしの小説でも「行間」のように書いてないとここの理解って、読者の意見が一致するんです。一方で書いたことに対してはそれぞれの経験に照らし合わせて理解するのでみんな解釈が違う。あるいはこれは逆の意味なんだと受け止める人もいて。むしろ言葉で書いていることってほんの一部分に過ぎなくて、それ以外の部分が大きいと思うんです。

作家 緋山秋子

須藤 晃 芸術監督



須藤／作家として言葉を尽くして書いているけれど、実はその「行間」にあることこそ大切だと。おもしろいですね。

「小説家の6次化」をめざす。

緋山／以前、富山で「6次産業化」の農家さんを見学させていただいたんです。第1次産業として農作物を生産するだけではなく、収穫体験といったイベントや産直販売などもすべて一軒の農家で行うんです。それがとても印象的で、今は「小説家の6次化」ということをめざしています。小説を書くだけではなく、大学やラジオの仕事もありますし、メルマガの配信やオリジナルグッズの作成、ネットショップでは自分の本の朗読CDやPDF原稿も販売しています。最近ではいろんなイベントも開催しているんです。

須藤／「6次化」という考え方があらゆる芸術家が応用できますよね。緋山さんのイベントではどういったことをされているんですか。

緋山／朗読会などのイベントでは、終わったら参加者と一緒にごはんに行くんです。ほかにも本屋さんに実演販売みたいなスペースをつくって、自分が仕事をしているところをラジオの公開生放送みたいに見てもらうこともあります。もうこうなると自分は何者なんだろうと思うときがありますよね。今は小説家を名乗ってますが、20年経ったら全然違うことが本業になっているかもしれません。

須藤／作家も小説を書いて、出版社と契約して、書店でその本を売って生計を立てる、という考え方方は少し古臭いような気がします。「作り手」という枠を超えていく必要がありますよね。

緋山／文壇としては新しい小説をどんどん書くことが望ましいのでしょうか、読者にとってはそうとも限らない

いと思うんです。例えば音楽アーティストのライブであれば新曲だけじゃなくてヒット曲もやってほしいですよね。だからもう終わってしまったものには何もないというのではなく、月1回の朗読会もやりますし、イベントになかなか来られない方のためにも通信販売を続けています。

須藤／富山の文化事業でも、そういう枠にとらわれないクリエイティビティを発揮したいんです。堅くならず、インスピレーションがあって、そのときのニーズに合ったことを柔軟に。緋山さんはなにか富山でやってみたいことはありますか。

緋山／富山市にはライトレールがありますよね。それを貸し切って読書会をしてみたいです。行きは読書会で帰りはトーク、岩瀬で降りてちょっとお食事そして、というようなことを。本と電車ってとても相性がいいですから。子どものころ学校や遊びに行くのに、本を持って電車に乗った思い出もよみがえったりして。そういうのが素敵だなと思うんです。

須藤／それはいいですね。

緋山／あともうひとつ。この間は小説の中のひとつの章が富山でしたけれど、これだけたくさん遊びに来てもらっていたいので、いつになるかはわかりませんが富山を舞台にした小説をしっかり書きたいと思っています。

須藤／楽しみですね。僕も含めて富山のファンは待ちわびていると思います。今日緋山さんとお話ししていろんなイメージも湧いてきました。ぜひ富山で一緒におもしろいことやりましょう。

オーバード・ホールの会員制度「アスネット」が、より多くのお客様にご利用いただけるように生まれ変わりました。

ただいま新規会員募集中!!



「新アスネット」会員の種類と特典

アスネット会員
年会費:1,800円(税込)

- 特典① アスネット指定公演チケットの先行販売
- 特典② アスネット指定公演チケットの割引販売
- 特典③ 情報誌や公演情報をお届け

メール会員
年会費:無料

メールで公演情報をお届け

チケットのご購入は以下の3つの方法で♪

「アスネット会員」「メール会員」どちらかにご登録いただくと
24時間、インターネットからのご予約が可能です！

NEW!



オーバード・ホールHPから
オンライン予約



お電話にて
ご予約



アスネットカウンター
にてお買い求め

チケットのお引取・ご精算は
アスネットカウンターまたはお近くのセブン-イレブンで！
※オンライン予約の場合、クレジットカード決済も可能です。

※セブン-イレブンでチケットのお引取・
ご精算の場合、支払手数料として、1件の
予約につき162円、発券手数料としてチ
ケット1枚につき108円ご負担ください。
※チケットの郵送は致しません。

会員申込は以下の2つの方法で♪



インターネットにてお申込

オーバード・ホールHP
<http://www.aubade.or.jp>
【トップページ】

【アスネット会員制度】

【会員登録／入会はこちら】
の順でお進みいただきご登録ください。



アスネットカウンターにてお申込

アスネットカウンターに直接お越しください。
※お電話での申込は受け付けておりません。



「新アスネット」
会員制度についての
お問い合わせ

アスネットカウンター(オーバード・ホール1F) TEL 076-445-5511
営業時間／10:00～18:00 定休日／毎週月曜日(月曜が祝日の場合、翌平日休み)、休館日

AROUND THE THEATER

避難訓練コンサート密着リポート

昨年12月に開催された「避難訓練コンサート」。実際にお客様を交えての避難訓練はオーバード・ホール初の試みです。コンサートの真っ最中、いきなり地震と火災が発生! そのときどうする!? 約300名のお客さまにご協力いただいた本番さながらの訓練に密着!

開演

富山市消防音楽隊の迫力ある演奏とカラーガード隊Snowfairy'sのダイナミックなパフォーマンスが会場を沸かせる。



公演を楽しんでいると、突然大きな音が地震の発生を告げる! スタッフの指示で観客は座席の間にかがみこみ、上着やカバンなどで頭を守る。



もしも公演中に
災害が起きたら!?



スタッフ 声掛け

「お怪我はございませんか」「落ち置いてください」「お席から離れないでください」スタッフの冷静な声掛けが観客を安心させる。

そのころホールの外では



避難経路 の確保

建物の一部に火災が発生したとの報告を受け、情報を整理して安全な避難経路を確認。避難場所につながる非常扉を開放する。



避難完了

全員無事に避難場所へと到着! 自衛消防隊員が避難完了を伝える。



消防分署長 の講評

「避難完了までの時間は4分。7、8分を想定していたので非常に速やかでした。オーバード・ホールでは年2回の訓練を行っていますが、実際に大勢の観客に参加していただくのは今回が初めてです。想定外のことでも起つたと思います。訓練でできないことは本番でもできませんの

で、今後とも訓練を重ね、想定外を少しでも減らしてください。本日参加されたみなさんが、これをきっかけに防火・防災意識を今一度深めていただけたらと思います」



いざというとき、避難訓練をしているのとしていないのとでは大きく違うと思います。体験してよかったです。

●富山市 浜川 たみこさん



避難開始

スタッフを各所に配置して安全に気を配りながら誘導する。



悪天候も予想されたため特別に屋内に避難となつた。



避難訓練を
終えて…



オーバード・ホール
飯田 勉 管理課長

今回の避難訓練にあたって、スタッフと何度も議論を重ねました。スタッフの間でも防災について深く考えるきっかけになったと思います。実際にやってみて、いつもの訓練とは緊張感が全く違いましたし、具体的な課題も見えてきました。それそれが感じたものを集約して、防災をより実践的なものにしていきたいです。

再び、
アーティストとオーケストラが
夢の競演。



音楽の新しい魅力と可能性を追求し、発信し続けている“ビルボードクラシックス”。

鳴り止まない拍手と大歓声に包まれた昨年に引き続き、再び富山で開催が決定！

豪華アーティストとフルオーケストラによる、贅沢な夢の競演をご堪能ください。



藤井 フミヤ



小野 リサ



玉置 浩二



平原 綾香



石崎 ひゅーい



指揮:柳澤寿男

©木之下 晃



オーバード・ホール開館20周年記念事業

billboard classics festival 2017 in TOYAMA

2017年3月19日(日) 15:00開演(14:00開場) オーバード・ホール



ミテミテ 読者コーナー

たくさんのお便りありがとうございました。



「小」 林研一郎指揮 ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団を聴きにいきました。大好きなブラームスの曲に感激して帰ってまいりました。私はピアノを細く長く趣味で続けており、仲道郁代さんにも興味がありました。11月はバレエのワークショップにも参加させて頂いたりと、何かと繋がりのあるオーバード・ホールの催しとなっています。これからも期待しています。(A.T 富山県富山市)

●ありがとうございます！色々な方に喜んでいただけるような素敵なお企画を考えていきたいと思いますので、これからも宜しくお願いします。

「ザ」 デイサービス・ショウ”とても楽しく観劇しました。出演者の歌やバンドの演奏は素晴らしい、ライブに来ているような感じでもありました。初めて土屋シオン君の演技も観ることができ、嬉しく思います。これからも活躍してほしい役者さんです。また富山に来てほしいなと思います。(T.S 富山県高岡市)

●観いて元気を貰えるような、本当に明るくて楽しいミュージカルでしたね。ただ嬉しいだけではなく、介護に関する現実もちょっと知ることが出来て、私もとても勉強になりました。



今回の プレゼント

読者コーナーに投稿してプレゼントをもらおう！

HANAGATAメンバーサイン色紙 1名様

mite miteの読者コーナーにメッセージをお寄せいただいた方の中から、抽選で1名様に「花形狂言」出演者サイン色紙をプレゼントいたします。(当選は発送をもって代えさせていただきます。)

- オーバード・ホールで鑑賞した公演の感想などを自由にお書きください。
- オーバード・ホール、mite mite本誌へのご意見、ご感想もお待ちしています。あなたのお名前、ご住所、電話番号を明記のうえ、mite mite編集部まで郵便またはFAX、メールでお送りください。

mite mite 編集部 〒930-0858
富山市牛島町9-28 オーバード・ホール内
voice@aubade.or.jp FAX 076-445-5601

ミテミテ 芸術監督日記

富山との距離がどんどん近くなる。
いつたい何回新幹線に乗ったんだろ
う？東京を出て2時間ちょっとで
着く。多い時は2週連続で行く。今はまだ東京に事務所を構えて
仕事をしているが、オーバード・ホールの芸術監督室にいると
気分が落ち込んぐ。窓から見える富山の空が好き。時間があると
環水公園周辺を走ったりもする。生活感覚を故郷で取り戻して
いるようなものか。もちろんいろんな人とも話もすれば、観察の
ようなことも多い。今年だけではなく、来年の企画もすでに動き
始めている。自分が見たいもの、聴きたいものを皆さんに提案する
というスタンスは変わらない。志すことが全て。目的地がなければ、歩き出しても到着することはないわけで、理想とするまち
づくりに気持ちを馳せる。歩いている僕をどこかで見かけたら
声をかけてください。今年は市民の皆さんと話をする会を設け
ようかなあ。良い年にしましょう、お互いに。



須藤 晃

富山市民文化事業団 芸術監督

ミテミテ 糸巻集後記

●ここ数年、年に
1冊、写真集を作る
ことにしています。

パソコンアプリを利用し、好きな写真を選んで送るだけで、表紙付きの小さな本に。到着までのわくわく感がたまりません。旅行編、家族編、友人へのサプライズ編、色々出来ました。今年も素敵な一冊ができますように。(マミー)

●さて、皆さんは新年の目標は立てましたか？自分は週に1日、スマホ等IT機器を使わない＆持たない日を実行すること。今の世の中、毎日さまざまな情報が溢れすぎて、頭をリフレッシュするため、IT機器から離れて過ごすことにしております。皆さんもおためしを。本年もmite miteをよろしくお願いします。(K)

2

15 水
市民のためのランチタイム
ジョイフルコンサート Vol.47

- 日時=2/15(水) 11:50開演
- 会場=富山市民プラザ・アトリウム[2階]
- 料金=無料
- 出演=[金管五重奏]葉室晃(トランペット)、西野有香(トランペット)、
谷上大輔(ホルン)、廣瀬大悟(トロンボーン)、上森菜未(チューバ)
- 曲目=「ウィリアム・テル序曲」、「エスト・サイド・ストーリー組曲より」ほか



入場無料

※前回のコンサートの様子

3

15 水
市民のためのランチタイム
ジョイフルスペシャルコンサート Vol.48

- 日時=3/15(水) 11:50開演
- 富山市民プラザ・アンサンブルホール[4階] ●料金=無料
- 出演=新井紗央理(ヴァイオリン)、大橋俊希(ギター)、中川佳美(ピアノ)、中野悠里(ピアノ)
- 曲目=踊る人形、アルハンブラの思い出、ノクターンOp.62-1ほか

3

29 水
市民のためのランチタイム
ジョイフルスペシャルコンサート Vol.49

- 日時=3/29(水) 11:50開演
- 富山市民プラザ・アンサンブルホール[4階] ●料金=無料
- 出演=四十谷諒(フルート)、加藤恵(ソプラノ)、中川歩美(ピアノ)、山森舞乃(ピアノ)、相山知範(ピアノ)
- 曲目=夢のあとに、この胸に息のある限り、絵画的練習曲ほか

3

3 金
舞台が美術館になる、劇場の逆襲。
舞台の上の美術館II KYOMU～巨無と虚無～

- 日時=3/3(金)~7(火) 11:00~20:00
- 会場=オーバード・ホール
- 料金=無料
- 作家=清河北斗(造形作家)、平井千香子(日本画家)
- ダンスマッフォーマンス=仮様舞踊団(振付:田畠真希、音楽:武徹太郎)



入場無料

イメージ

3

19 日
新しい音楽の可能性を追求するビルボードクラシックスプロジェクト
billboard classics festival 2017 in TOYAMA

- 日時=3/19(日) 15:00開演
- 会場=オーバード・ホール
- 料金=[全席指定]S席10,000円
A席8,000円 B席6,000円
学生券2,000円(50席限定)
- 出演=玉置浩二、藤井フミヤ
小野リサ、平原綾香、石崎ひゆい
●指揮=柳澤寿男
- 管弦楽=オーケストラ・アンサンブル金沢
- 合唱=富山少年少女合唱団(共演・玉置浩二)



好評発売中!



4

5 水
北日本放送開局65周年記念
市川海老蔵「古典への誘い」

- 日時=4/5(水) 14:30開演
- 会場=オーバード・ホール
- 料金=[全席指定]一等席10,800円(完売) 二等席9,000円
学生席3,000円(席数限定)
- 出演=市川海老蔵、片岡市蔵、市川九團次、市川はたん
- 演目=「男伊達花廓」
二岡村柿紅 作 新吉演劇十種の内「身替座禅」



5

12 金
歌と手紙の朗読で綴る 恋文コンサート
剣幸 kohibumi concert

- 日時=5/12(金) 19:00開演
- 富山市民プラザ・アンサンブルホール[4階]
- 料金=[全席指定]一般4,000円 ジュニア2,000円
シニア(60歳以上)3,000円
- 出演=剣幸
- ピアノ=紺野紗衣

会員先行発売2/25(土)のみ 一般発売日:3/4(土)~



7

29 土
全国47都道府県ツアー決定!
プラスト! : ミュージック・オブ・ディズニー

- 日時=7/29(土) 17:30開演
- 会場=オーバード・ホール
- 料金=[全席指定]S席9,500円 A席8,000円
B席6,500円 C席5,000円
学生券2,000円(50席限定)



会員先行発売2/18(土)のみ 一般発売日:4/22(土)~



© Disney / Photo by Yow Kobayashi

対象: 小学生
～大学生

◎学生券をお持ちの方は公演当日、空席からお席をご用意します。
◎アスネット会員割引はございません。◎枚数は限定とさせていただく場合がございます。
◎学生券の取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。

対象: 小学生
～高校生

チケットのお求めお問合せは

アスネットカウンター
(オーバード・ホール1階)

TEL 076-445-5511

営業時間／10:00~18:00
定休日／毎週月曜日(月曜が祝日の場合、翌平日休み)、休館日

アスネットオンラインチケット

<http://www.aubade.or.jp>

24時間受付 ※要会員登録

「アスネット」会員募集中!

[アスネット会員]と[メール会員]の
2種類があります。

[アスネット会員] 年会費 1,800円(税込)
※特典①アスネット指定公演チケットの先行販売
※特典②アスネット指定公演チケットの割引販売
※特典③情報誌や公演情報を届け

[メール会員] 年会費 無料
メールで公演情報を届け

会員にご登録いただくと、インターネットで24時間チケットのご予約が可能!

会員のご登録・お問合せはオーバード・ホールHPまたは、アスネットカウンターまで オーバード・ホールHP <http://www.aubade.or.jp>
※この情報誌刊行時にチケット完売の際はご了承ください。 ※チケット発売初日はカウンターが混み合うことがありますのでご了承ください。